

お世話になります!! 体験学習を頑張っています!!

西大路小学校の子どもたちは、年間を通じて様々な体験学習に取り組んでいます。

たんぼのこ、炭焼き、お茶摘み、日野祭のお囃子、綿向山登山などなど、いろいろな機会に多くのことを体験しています。かつて、子どもたちは、毎日の生活の中での様々な体験を通じて、その中からいろいろなことを学んでいました。しかし、都会の子どもたちはもちろんのこと、西大路のような自然が豊かで「田舎」の良さが多く残っている地域でさえも、子どもたちの日常生活の中での体験が少なくなってきました。そこで、本校では、地域の方々にご協力をお願いしながら、**ふるさと学習**の一環として様々な体験学習に力を入れています。



5月16日には、木田製茶さんのご協力で、3年生がお茶摘み体験をしました。かつては、西大路地区でも

新茶の摘み取り（3年生）盛んに栽培されていたお茶ですが、最近は随分と減ったようです。また、子どもたちはペットボトルのお茶を飲むことはあっても、急須でお茶を入れて飲むこともあまりないのではないのでしょうか。そこで、**新茶を摘む体験、製茶工場の見学、お茶の入れ方学習**など、かつては今以上に身近にあった日本茶についての学習を行っているのです。また、5月19日には、蔵王の仲上さんのお世話で、5年生が今年も「たんぼのこ」の学習をスタートさせました。初回は、素足でたんぼに入り、「こしひかり」の苗を植える田植えの体験でした。水の張ったたんぼに入った子どもたちは、土の冷たさや「ぬるっ」とした感触を感じながら、横1列になり、後ずさりして1本1本の苗を丁寧に



田植え体験（5年生）

植えていきました。慣れない格好での初めての体験なので、少し疲れたようです。この「たんぼのこ」の学習も、次回からは草取りとたんぼの生き物の観察、そして秋の稲刈りと脱穀へと続いていきます。

4. 5交流もスタートしました!! さつまいも植えをしました!!

5年生と幼稚園児の**幼小交流**が始まりました。例年は5才児と5年生の交流で、5・5交流なのですが、今年度は幼稚園に5才児が在籍しないため、4才児と5年生の**4・5交流**となりました。

当日は、ペアでさつまいも植えを行いました。さすが5年生の子どもたちです。4才児の子どもたちに苗の植え方を丁寧に説明し、優しくリードしながら、さつまいもの苗を1本、1本上手に植えていきました。全員で100本ほどの苗を植え終わると、次は水やりです。蒸籠に水を入れ、植えたばかりの苗に2人で協力しながらたっぷりと水をやりつて終わりました。

秋には、自分たちが植えたさつまいもを収穫し、焼き芋やスイートポテト作りで交流会をする予定です。例年は、びっくりするぐらいの大きなさつまいもが収穫できます。今年も4才児の子どもたちが一人では持ちきれないような大きさのいもが収穫できるか楽しみです。

西大路小学校と西大路幼稚園では、このよう



なさつまいもを通じた交流以外にも、音楽会や運動会、学習フェスタなど、いろいろな機会に子どもたちの交流を行っています。

ペアになったのさつまいも植えす。小学生にとっては、お兄さん、お姉さんとしての力の見せどころです。小さな子どもたちや周囲からの「ありがとう」の言葉で子どもたちの自信も大きくなり、**自尊心**を豊かにします。また、園児にとっては**未来の自分**が見えてきます。「大きくなったら、僕も、私も・・・」という気持ちをふくらませるきっかけとなることでしょう。

『読書のススメ』

朝の10分間、月曜日は**朝読書**、水曜日は**読み聞かせ**の時間です。子どもたちは、思い思いに読書をしたり、読み聞かせを楽しんだりしています。昨年度、全校で子どもたちが読んだ本の冊数が5425冊、**一人あたりにすると83冊**にもなります。最近はテレビやインターネットなどからの情報が中心となりますが、やはり**「活字」を読む**ことは、将来の**「しっかりと考える力」**につながります。毎週、火・金には学校司書の方が来られ、保護者向けに親子読書の本や紙芝居の貸し出しが行われています。ご利用ください。

(校長 深井 実)